

令和 5 年度

労働災害の現状

(令和5年 年間標語)

危ないよ 声を掛け合い 安全確認

つなぐ言葉で つながる明日

(令和5年 全国安全週間スローガン)

高める意識と安全行動

築こうみんなのゼロ災職場

日光労働基準監督署

令和4年 業種別労働災害発生状況

(確 定 値)

日光労働基準監督署

	令和3年		令和4年		増減数		増減率%	構成比%
	死傷者	死亡	死傷者	死亡	死傷者	死亡		
全 産 業 計	114		220		106	±0	93.0%	100.0
製 造 業 計	30		30		±0	±0	±0%	13.6
食 料 品 製 造 業	7		10		3		42.9%	4.5
織 維 製 品 製 造 業					±0		±0%	
木 材 木 製 品 製 造 業	4		1		-3		-75.0%	0.5
家 具 装 備 品 製 造 業			1		1		+∞	0.5
化 学 工 業	4		3		-1		-25.0%	1.4
窯業土石製品製造業	3		1		-2		-66.7%	0.5
金 属 製 品 製 造 業	7		8		1		14.3%	3.6
一般機械器具製造業					±0		±0%	
電気機械器具製造業	2		2		±0		±0%	0.9
輸送用機械器具製造業	1		2		1		100.0%	0.9
電気・ガス・水道業	1		1		±0		±0%	0.5
上 記 以 外 の 製 造 業	1		1		±0		±0%	0.5
土 石 採 取 業					±0	±0	±0%	
建 設 業 計	9		17		8	±0	88.9%	7.7
土 木 工 事 業	3		6		3		100.0%	2.7
建 築 工 事 業	4		4		±0		±0%	1.8
木造家屋建築工事業	2				-2		-100.0%	
そ の 他 の 建 設 業	2		7		5		250.0%	3.2
交 通 運 輸 業 計	1		1		±0	±0	±0%	0.5
道路貨物運送・貨物取扱い業計	7		5		-2	±0	-28.6%	2.3
林 業	4		4		±0	±0	±0%	1.8
そ の 他 の 事 業 計	63		163		100	±0	158.7%	74.1
新 聞 販 売 業	3		2		-1		-33.3%	0.9
ゴ ル フ 場 業	6		1		-5		-83.3%	0.5
旅 館 業	16		7		-9		-56.3%	3.2

(注) 1. 本表は、労働者死傷病報告に基づく休業4日以上労働災害件数を暦年で集計したもの。

2. 死亡者数は内数である。

令和4年 その他の事業の労働災害発生状況

(確 定 値)

日光労働基準監督署

種 別	令和3年	令和4年	増減数	増減率%	構成比%
農 業		1	1	+∞	0.5%
水産畜産業	3	1	-2	-66.7%	0.5%
商 業	16	10	-6	-37.5%	4.5%
各種商品小売	1	1	±0	±0%	0.5%
新聞販売	3	2	-1	-33.3%	0.9%
金融広告業		3	3	+∞	1.4%
金 融 業		3	3	+∞	1.4%
広告・あっせん			±0	±0%	
映画演劇業			±0	±0%	
通 信 業	2	1	-1	-50.0%	0.5%
教育研究業	1		-1	-100.0%	
保健衛生業	10	134	124	1240.0%	60.9%
医療保健業	4	52	48	1200.0%	23.6%
社会福祉施設	6	81	75	1250.0%	36.8%
接客娯楽業	26	11	-15	-57.7%	5.0%
ゴルフ場	6	1	-5	-83.3%	0.5%
旅館業	16	7	-9	-56.3%	3.2%
清掃・と畜業	3	1	-2	-66.7%	0.5%
ビル清掃	2	1	-1	-50.0%	0.5%
上記以外の事業	2	1	-1	-50.0%	0.5%
警 備 業	1		-1	-100.0%	
合 計	63	163	100	158.7%	74.1%
全 産 業	114	220	106	93.0%	100.00

(注) 1. 休業4日以上労働者死傷病報告による労働災害集計分
2. 上段の数は速報による死亡者数で内数

令和5年 業種別労働災害発生状況

(令和5年4月末日現在)

日光労働基準監督署

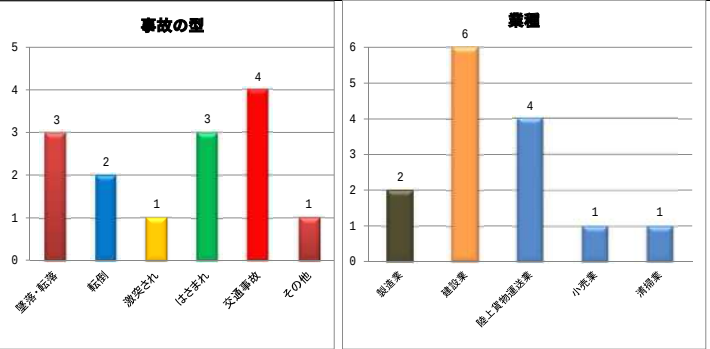
	令和4年		令和5年		増減数		増減率%	構成比%
	死傷者	死亡	死傷者	死亡	死傷者	死亡		
全 産 業 計	43		28		-15	±0	-34.9%	100.0
製 造 業 計	4		3		-1		-25.0%	10.7
食 料 品 製 造 業	1		1		±0		±0%	3.6
繊 維 製 品 製 造 業					±0		±0%	
木 材 木 製 品 製 造 業			1		1		+∞	3.6
家 具 装 備 品 製 造 業					±0		±0%	
化 学 工 業					±0		±0%	
窯業土石製品製造業	1				-1		-100.0%	
金 属 製 品 製 造 業	1		1		±0		±0%	3.6
一 般 機 械 器 具 製 造 業					±0		±0%	
電 気 機 械 器 具 製 造 業					±0		±0%	
輸送用機械器具製造業	1				-1		-100.0%	
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業					±0		±0%	
上 記 以 外 の 製 造 業					±0		±0%	
土 石 採 取 業			1		1	±0	+∞	3.6
建 設 業 計	2		3		1	±0	50.0%	10.7
土 木 工 事 業	1				-1		-100.0%	
建 築 工 事 業			3		3		+∞	10.7
木造家屋建築工事業			2		2		+∞	7.1
そ の 他 の 建 設 業	1				-1		-100.0%	
交 通 運 輸 業 計	1		1		±0	±0	±0%	3.6
道路貨物運送・貨物取扱い業計			1		1	±0	+∞	3.6
林 業	2		1		-1	±0	-50.0%	3.6
そ の 他 の 事 業 計	34		18		-16	±0	-47.1%	64.3
新 聞 販 売 業	1				-1		-100.0%	
ゴ ル フ 場 業					±0		±0%	

(注) 1. 本表は、労働者死傷病報告に基づく休業4日以上の労働災害件数を暦年で集計したもの。

2. 死亡者数は内数である。

令和4年 栃木県内における死亡労働災害発生状況

*令和4年確定値				栃木労働局
番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	事業場規模	
1	令和4年1月	交通事故	化学工業	被災者は、大型トラックを誘導後に道路反対側から走行してきた乗用車にはねられ、死亡したもの。
	9～10時	乗用車	41～50人	
2	令和4年2月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、荷物の配送のため、軽トラックを運転中、センターラインをはみ出し対向車と正面衝突し、死亡したもの。
	8～9時	トラック	11～20人	
3	令和4年2月	激突され	道路建設工事業	被災者は、資材置場でトラクターショベルを運転してダンプトラックの荷台に砂利を積み込んでいたところ、当該ダンプトラックが逸走したの で、慌ててトラクターショベルから降りて身体でダンプトラックを止めよう としたところ、逸走したダンプトラックに激突され、死亡したもの。
	15時～16時	トラック	1～10人	
4	令和4年2月	転倒	小売業	被災者は、ガソリンスタンドの店員であるが、店舗敷地内の 通路が凍結していたため、歩行中に転倒した際に後頭部を強打 し、3週間後に死亡したもの。
	6時～7時	通路	10人～20人	
5	令和4年2月	墜落	陸上貨物運送業	被災者は、トラックの荷台から荷を下ろす際、荷を載せてい たパレットにかけていた棒が突然外れた反動で、高さ1.4メー トルの荷台から墜落し、頭部を地面に打ち付けて負傷。意識不 明の状態が続いていたが、約2か月後に死亡したもの。
	1時～2時	トラック	1人～10人	
6	令和4年5月	巻き込まれ	セメント製造業	被災者は、セメントの原料を運搬するコンベアを清掃してい たところ、コンベアを停止させていなかったため、ベルトとプー リー等との間に上腕部を挟まれ、死亡したもの。
	13時～14時	コンベア	30人～40人	
7	令和4年7月	転落	建築工事業	被災者は、ホイールローダーを運転し、道路を走行していたと ころ、路肩から用水路に転落し、ホイールローダーの下敷きと なって、死亡したもの。
	15時～16時	建設機械	20人～30人	
8	令和4年8月	転落	土木工事業	被災者は、ロードローラーを運転し、盛土を踏み固めていた ところ、路肩から地面に転落し、ロードローラーの下敷きと なって、死亡したもの。
	14時～15時	建設機械	10人～20人	
9	令和4年8月	その他	土木工事業	被災者は、刈払機で草刈りをしていたところ、スズメバチに 刺され、アナフィラキシーショックにより、被災から5日 後に搬送された病院で死亡したもの。
	11時～12時	環境等	30人～40人	
10	令和4年8月	はさまれ	清掃業	被災者は、清掃工場のビット内へごみ清掃車からごみを投棄 する作業をしていたところ、ごみ清掃車のテールゲートにはさ まれ、その後、ビット内に転落し、死亡したもの。
	10時～11時	トラック	40人～50人	
11	令和4年8月	その他	陸上貨物運送業	被災者は、冷凍車で冷凍食品を運搬し、納品先で荷下ろし しているときに、急性心筋梗塞等を発症し、搬送先の病院で死亡し たもの。
	12時～13時	起因物なし	40人～50人	
12	令和4年9月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、台風による大雨の中、24トントレーラーを運転 し、高速道路を走行中、前方を走行中のトラックを追い越し した際、当該トラックに接触し、高速道路の壁に激突し、死亡し たもの。
	3時～4時	トラック	50人～100人	
13	令和4年9月	交通事故	道路建設工事業	被災者は、3トントラックを運転して、現場に向かう途中、 対向車線にはみ出してしまい、対向車の散水車と正面衝突し、 死亡したもの。
	14時～15時	トラック	1～10人	
14	令和4年10月	はさまれ	製造業	被災者は、自動成型機でゴム製品を試作中、成型機の上型に 貼り付いたため、試作品を取り外そうと身を乗り出したところ、 自動制御で可動中の成型機に頭部を挟まれ、死亡したもの。 の。
	14時～15時	一般機械	1～10人	
15	令和4年10月	転倒	陸上貨物運送業	被災者は、商品を仕用車に積む作業中、事務所前の駐車場に 通じるスロープの下で商品（280kg）が積み重ねられた台 車の下敷きとなり、後頭部を負傷して倒れていたところを発見 された。その後、病院に搬送され意識不明となっていたが、3 週間後に死亡したもの。
	8～9時	作業床	100～200人	
16	令和4年12月	はさまれ	土木工事業	被災者は、コンクリートブロックを設置していたところ、被 災者の後方、約1メートルの位置にあった建設機械が旋回した ため、建設機械とコンクリートブロックとの間に挟まれ、死亡 したもの。
	8～9時	建設機械	1～10人	



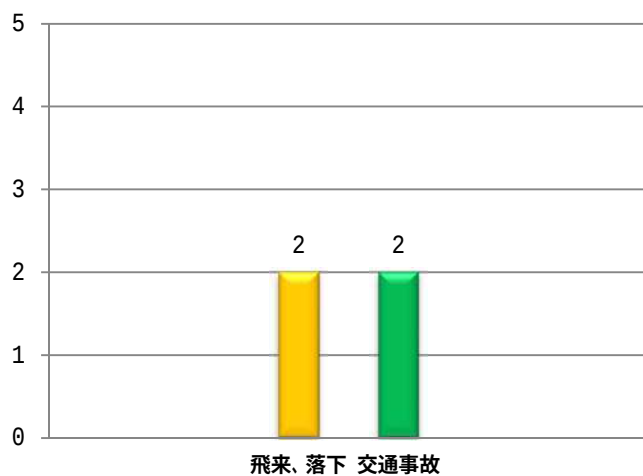
令和5年 栃木県内における死亡労働災害発生状況

令和5年4月末日現在

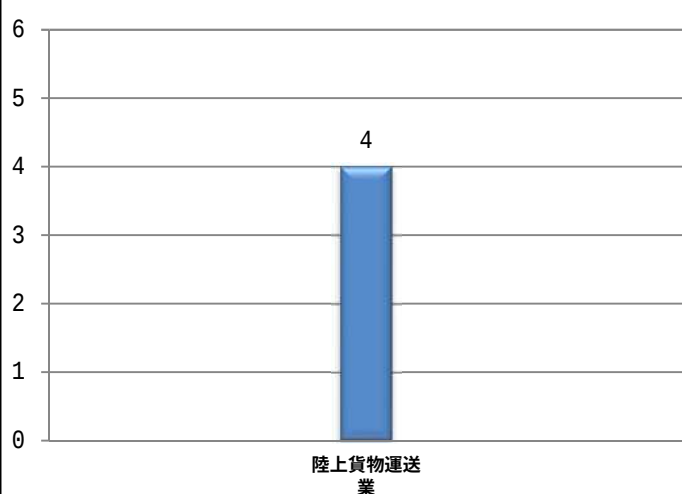
栃木労働局

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	事業場規模	
1	令和5年3月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、大型トラックを運転中、割り込んできた乗用車が突然スピンし中央分離帯に乗り上げたため、救助しようとトラックから降りて反対車線にいたところ、道路反対側から走行してきた乗用車にはねられ、死亡したもの。
	21～22時	乗用車	20～30人	
2	令和5年3月	交通事故	陸上貨物運送業	被災者は、新車を納車するため、キャリアカー（新車運搬用トラック）から降りて、新車を下す際、後方から来た乗用車がキャリアカーの荷台に突っ込んできて、荷台にいた被災者にぶつかり、死亡したもの。
	0～1時	トラック	41～50人	
3	令和5年3月	飛来、落下	陸上貨物運送業	被災者は、資材置場において、パレットに乗せた重さ650kgのパレットが入ったフレコンバッグをフォークリフトでコンテナへ運ぶ際、コンテナの扉付近でフォークリフトが動けなくなったため、フォークリフトを降りて扉を開けようとしたところ、パレットが崩れ、落下したフレコンバッグに当たり、死亡したもの。
	15時～16時	荷	30～40人	
4	令和5年4月	飛来、落下	陸上貨物運送業	被災者は、トラックの荷台に300kgのポンプを積んだ後、1,500kgのタンクを積み込んだところ、車体が傾き、ポンプが荷台から落下しそうになったため、手で押さえようとしたが、抑えきれずポンプの下敷きとなり、死亡したもの。
	9時～10時	トラック	10～20人	

事故の型



業種



平成30年～令和4年の日光署管内における労働災害発生状況(事故の型・起因物)

日光労働基準監督署

	墜落、転落	転倒	激突	飛来、落下	崩壊、倒壊	激突され	はさまれ、巻き込まれ	切れ、こすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	交通事故（道路）	交通事故（その他）	動作の反動、無理な動作	その他	分類不能	総計
原動機				1													1
動力伝導機構							3										3
木材加工用機械			1			1	3	11									16
建設機械等						1	5										6
金属加工用機械							9	3									12
一般動力機械	1	1		3		1	14	7			1			1			29
車両系木材伐出機械等						1										1	1
動力クレーン等		1					1										2
動力運搬機	13	1		1		3	13						1	3			35
乗物	1	1	1				3					19					25
人力機械工具等		5	2		3	2	4	7				1		5			29
用具	18	6		7		1	2	4		3				6			47
電気設備		2			1												3
その他の装置、設備	3	1		3	2		3			1							13
仮設物、建築物、構築物等	39	116	5		1		7	1	1					17			187
材料	1	3		6	5	2	2	3	1	1				3			27
危険物、有害物等											1						1
荷		3			3	2	2							13			23
環境等	6	15		3		4		1		3	1	2		3			38
その他の起因物		5												3	123		131
起因物なし		5	2			1						1		25		1	35
分類不能																1	1
総計	82	165	11	24	15	19	71	37	2	8	3	23	1	79	123	2	665

12.3% 24.8%

10.7%

3.46%

5.26%

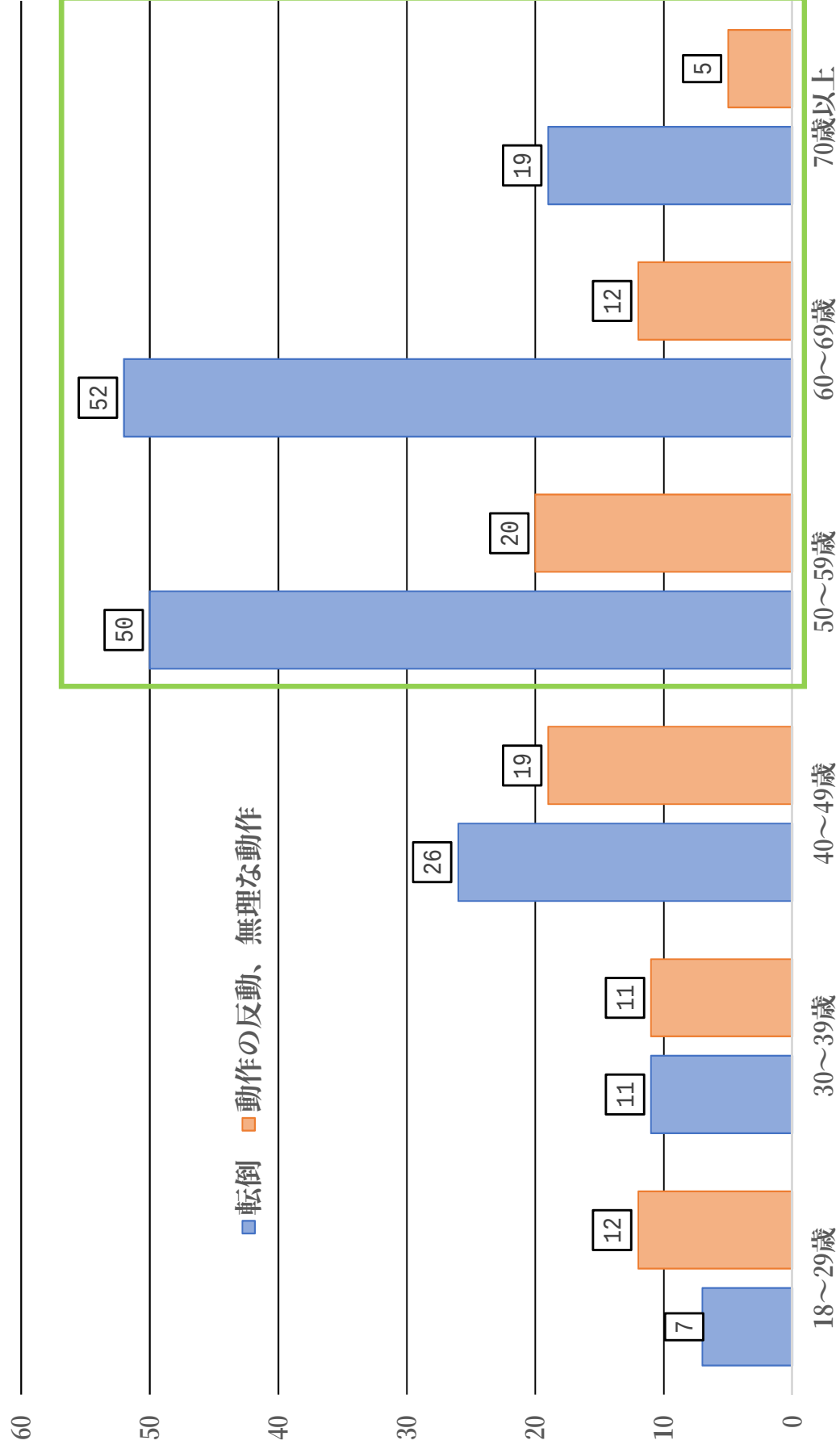
7.07%

28.12%

5.71%

5.26%

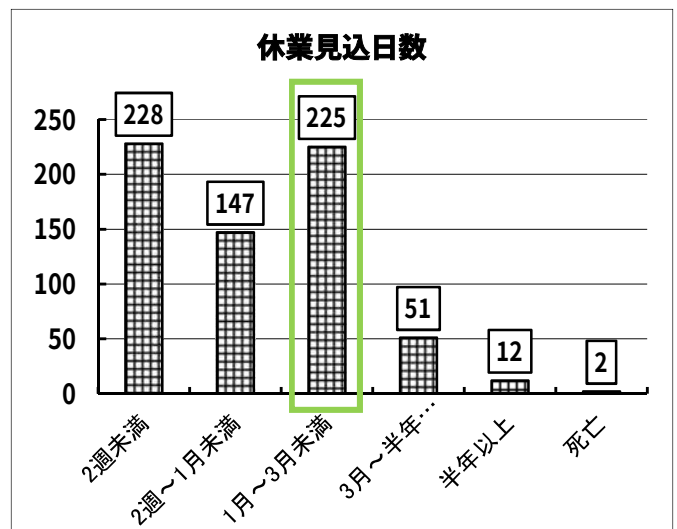
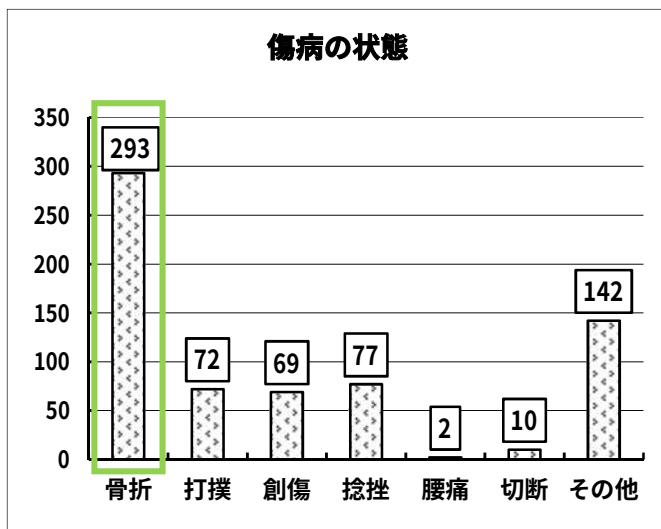
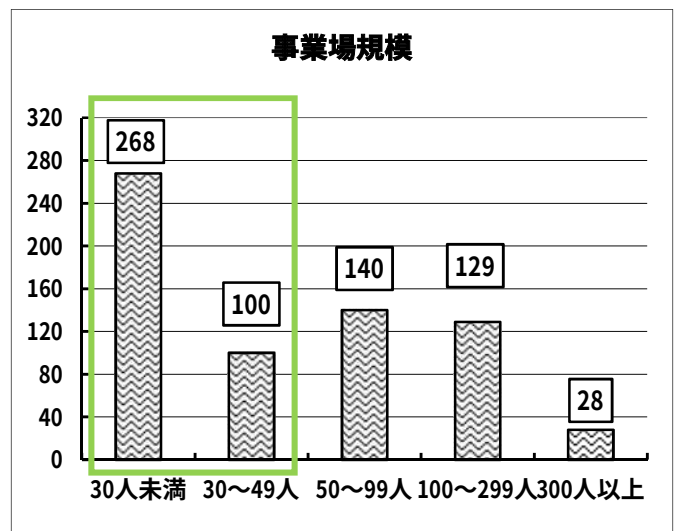
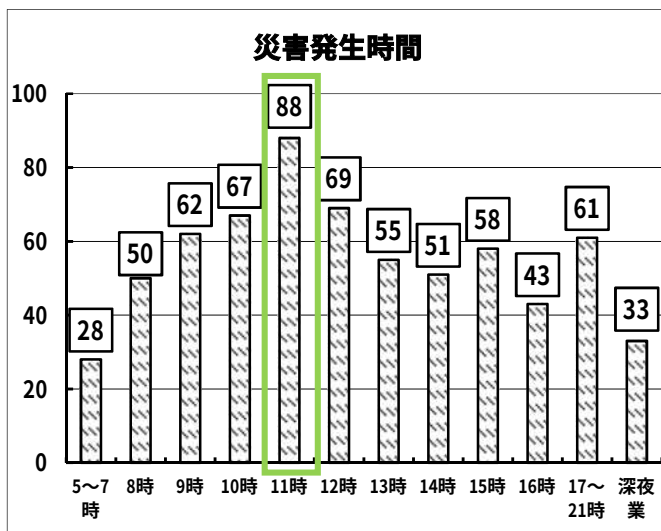
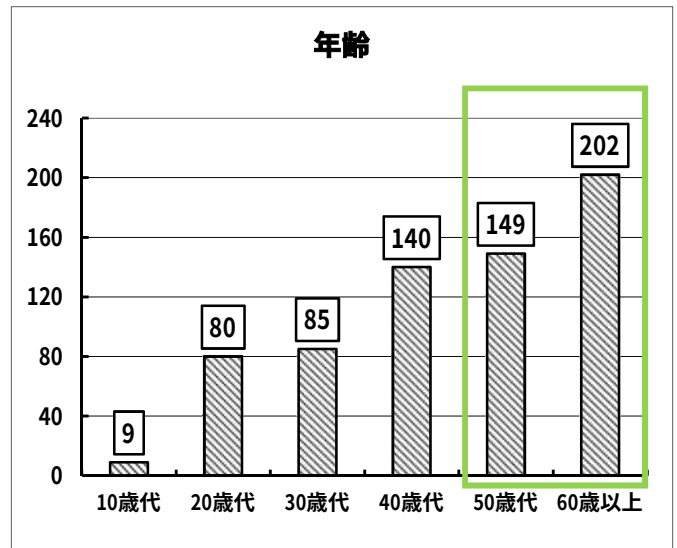
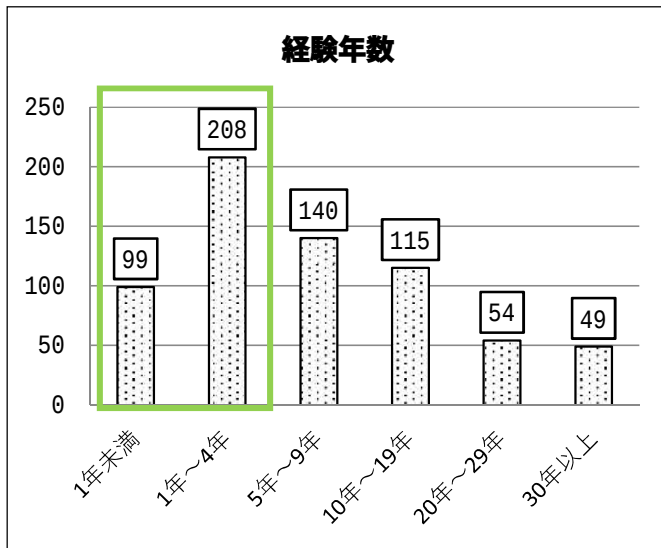
平成30年から令和4年の行動災害発生状況（年齢別）



平成30年から令和4年までの全産業における労働災害発生状況

総件数：665件

日光労働基準監督署



平成30年から令和4年の製造業における労働災害発生状況(事故の型・起因物)

日光労働基準監督署

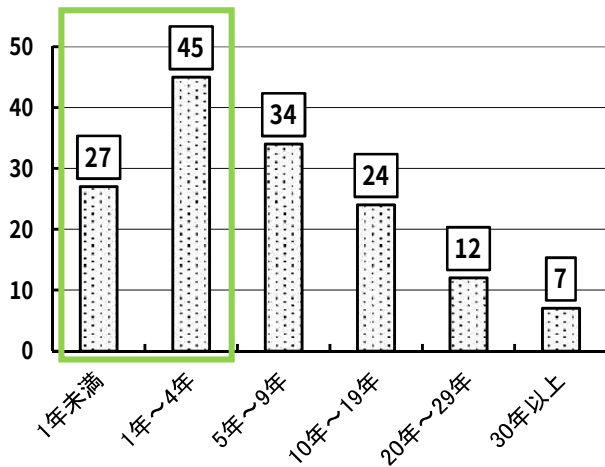
	墜落、転落	転倒	激突	飛来、落下	崩壊、倒壊	激突され	はさまれ、巻き込まれ	切れ、こすれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	交通事故(道路)	動作の反動、無理な動作	総計
原動機				1									1
動力伝導機構							3						3
木材加工用機械							3	7					10
建設機械等							1						1
金属加工用機械							9	1					10
一般動力機械	1			2		1	11	4		1		1	21
動力クレーン等							1						1
動力運搬機							10						10
乗物											2		2
電気設備		1				1							2
人力機械工具等		2	1		1	1	1	1				1	8
用具		1		1			1	1	1			1	6
その他の装置、設備	1	1			1		2		1				6
仮設物、建築物、構築物等	9	25	1				1					5	41
危険物、有害物等										1			1
材料	1				2		2	3				2	10
荷		2			1		1					4	8
環境等	1	1							2				4
起因物なし		2	1									1	4
総計	13	35	3	4	6	2	46	17	4	2	2	15	149
	8.72%	23.49%					30.87%	11.41%				10.07%	

平成30年から令和4年までの製造業における労働災害発生状況

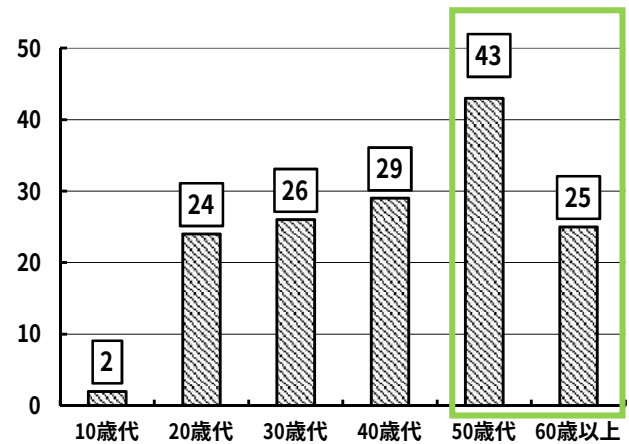
総件数：149件

日光労働基準監督署

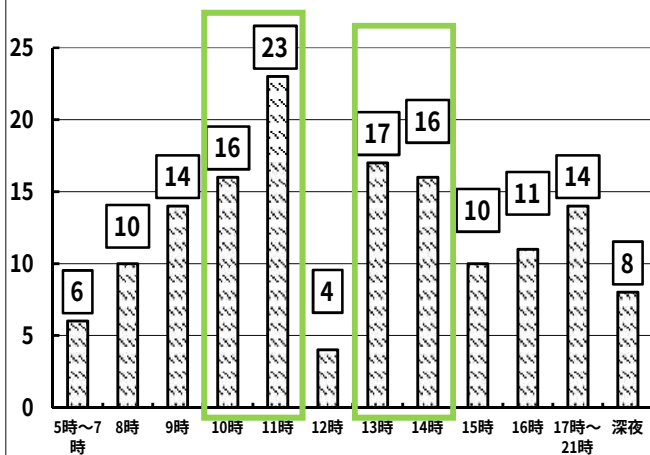
経験年数



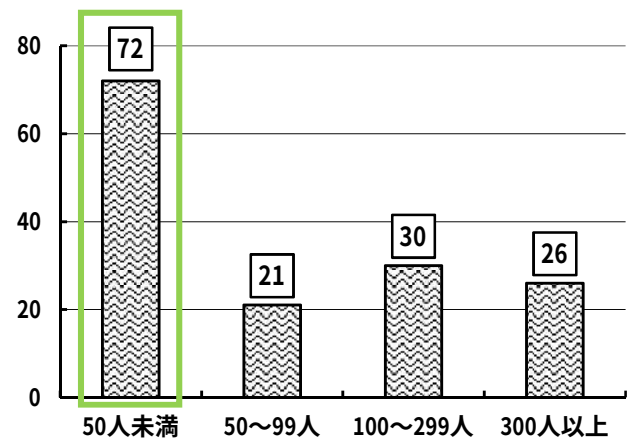
年齢



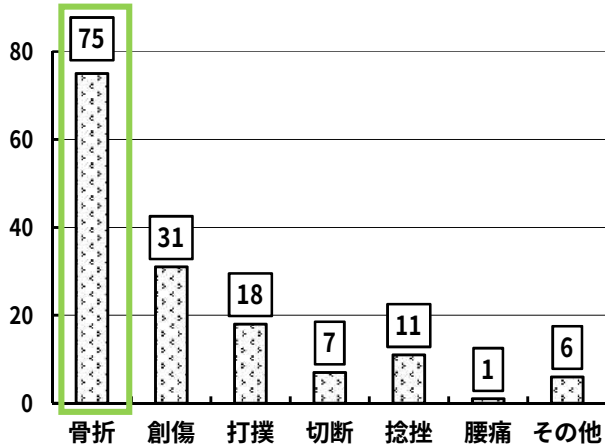
災害発生時間



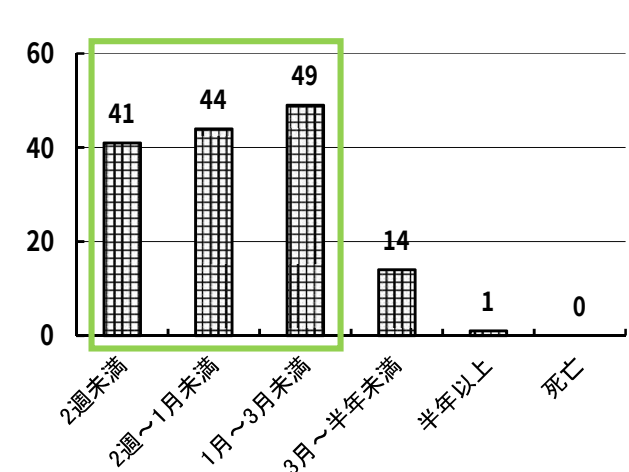
事業場規模



傷病の状態



休業見込日数

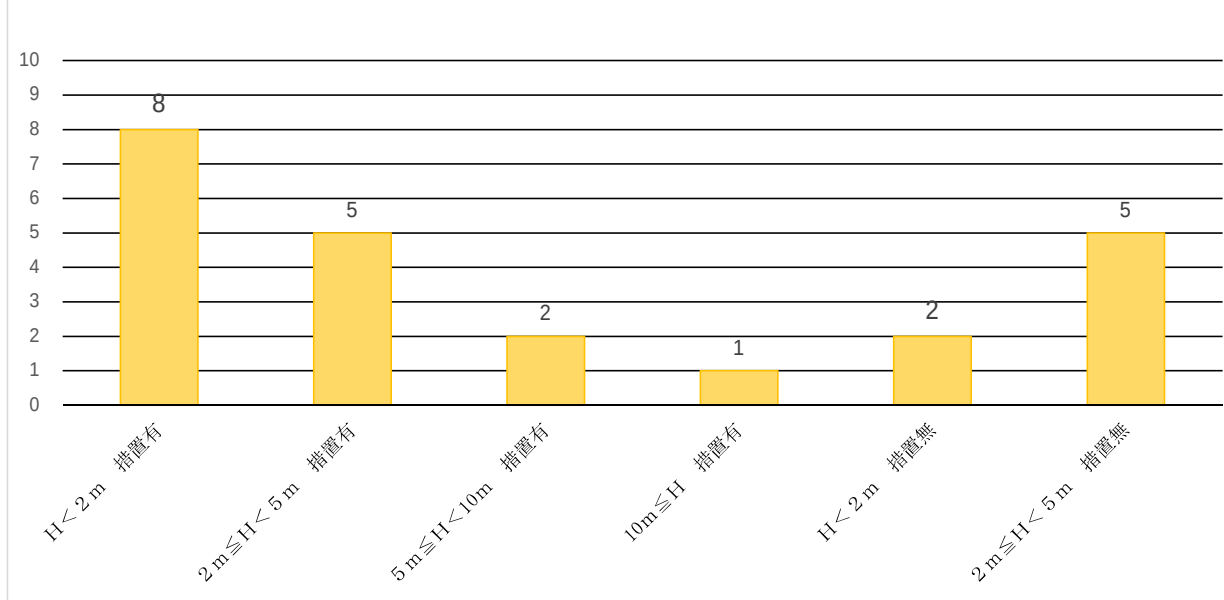


平成30年から令和4年の建設業における労働災害発生状況(事故の型・起因物)

日光労働基準監督署

	墜落、転落	転倒	激突	飛来、落下	崩壊、倒壊	激突され	はさまれ、巻き込まれ	切れ、こすれ	高温・低温の物との接触	交通事故(道路)	動作の反動、無理な動作	踏み抜き	交通事故(その他)	総計
木材加工用機械			1					1						2
建設機械等						1	3							4
一般動力機械							2							2
動力運搬機	4												1	5
乗物										2				2
人力機械工具等					1	1		3		1				6
用具	5			2										7
その他の装置、設備				1										1
仮設物、建築物、構築物等	14	4			1		2	1				1		23
荷						2	1							3
材料		2		5	3	1								11
環境等	1	2		3					1					7
起因物なし										1	1			2
金属加工用機械								2						2
総計	24	8	1	11	5	5	8	7	1	4	1	1	1	77
	31.17%			14.29%			10.39%							

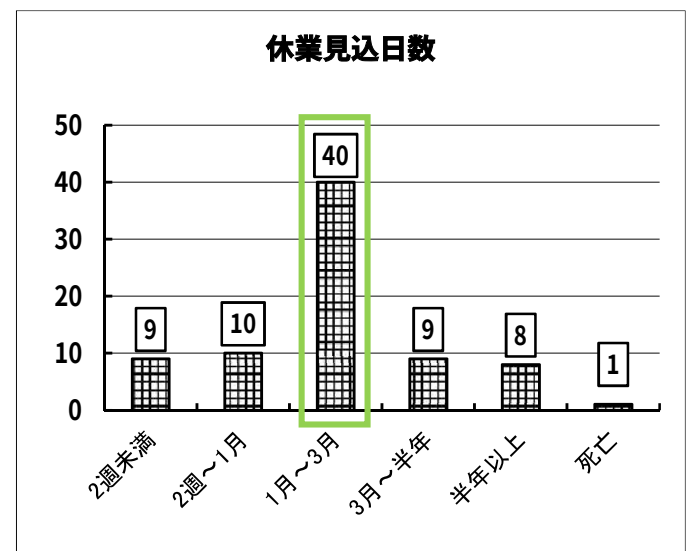
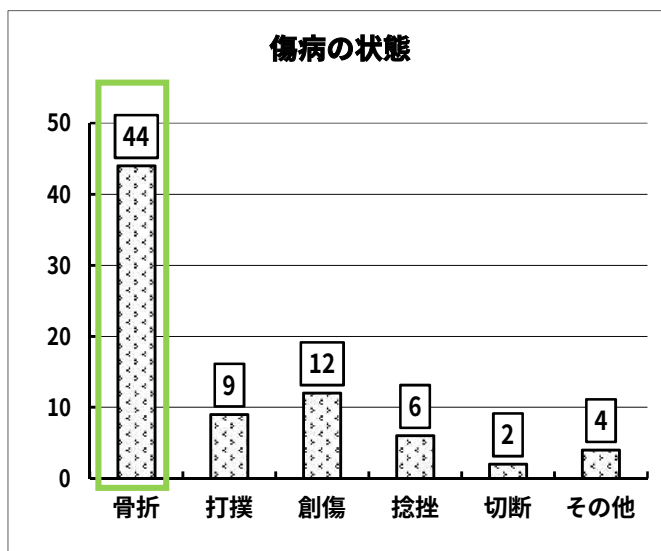
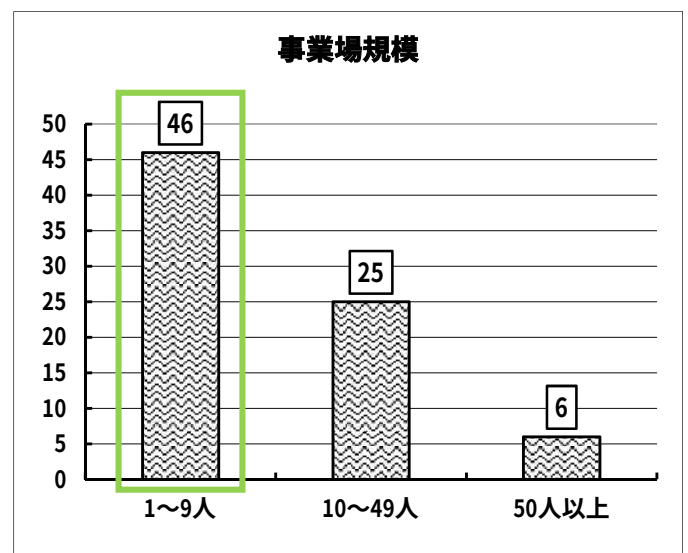
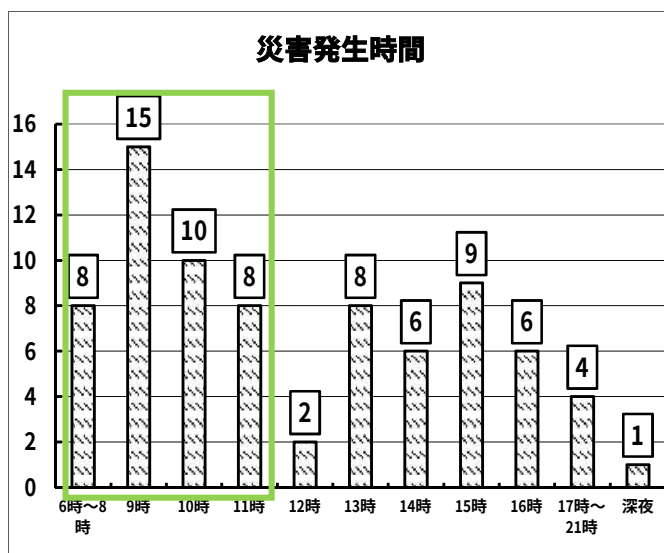
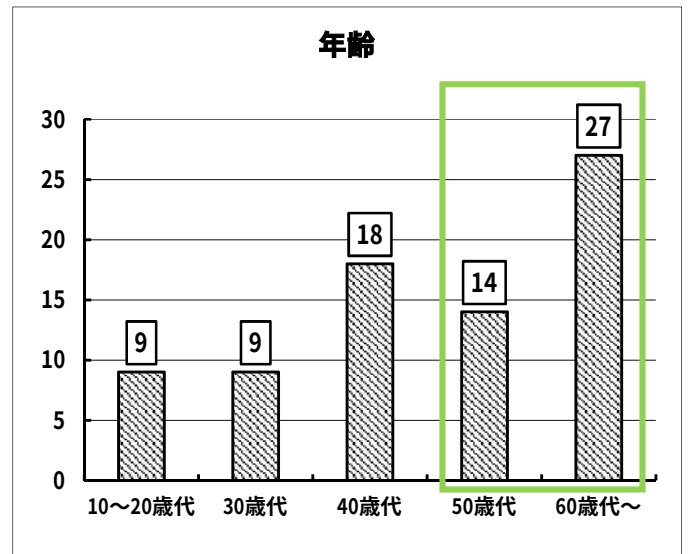
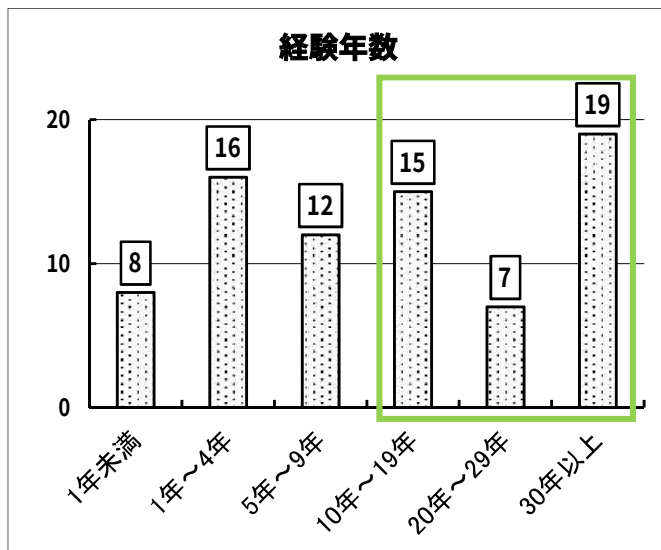
墜落・転落災害の高さと安全措置状況



平成30年から令和4年までの建設業における労働災害発生状況

総件数：77件

日光労働基準監督署



平成30年から令和4年の陸上貨物運送業における労働災害発生状況(事故の型・起因物)

日光労働基準監督署

	墜落、転落	転倒	はさまれ、巻き込まれ	動作の反動、無理な動作	崩壊、倒壊	総計	
動力クレーン等		1				1	
動力運搬機	4			2		6	27.27%
人力機械工具等			1	1		2	
用具		1				1	
仮設物、建築物、構築物等	1	3		2		6	27.27%
荷		1		2	1	4	
起因物なし				1		1	
材料		1				1	
総計	5	7	1	8	1	22	
	22.7%	31.8%		36.4%			

★ 陸上貨物運送業における職種と作業の種類別の労働災害の状況

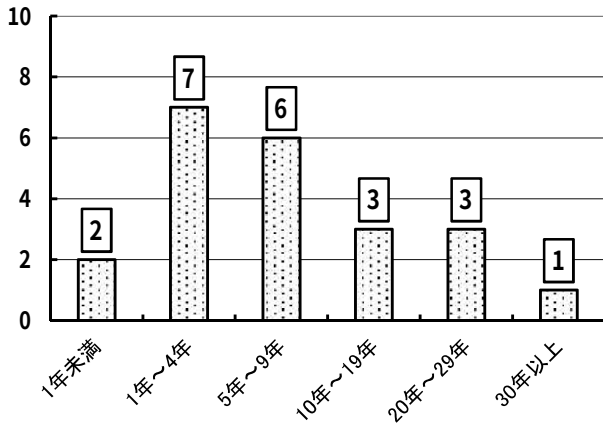
	運転手	荷役作業員	管理・事務員	総計	
機械荷役作業	1	1		2	
人力荷役作業	9	3	1	13	59.09%
その他、不明	6	1		7	
総計	16	5	1	22	
	72.73%				

平成30年から令和4年までの陸上貨物運送業における労働災害発生状況

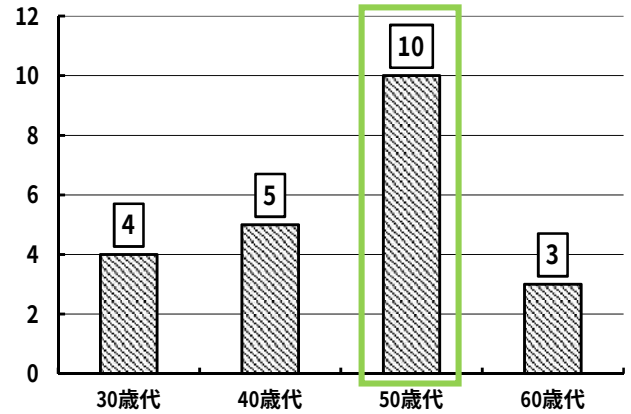
総件数：22件

日光労働基準監督署

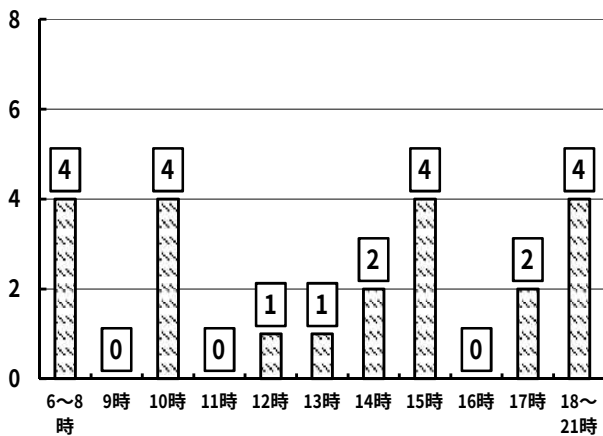
経験年数



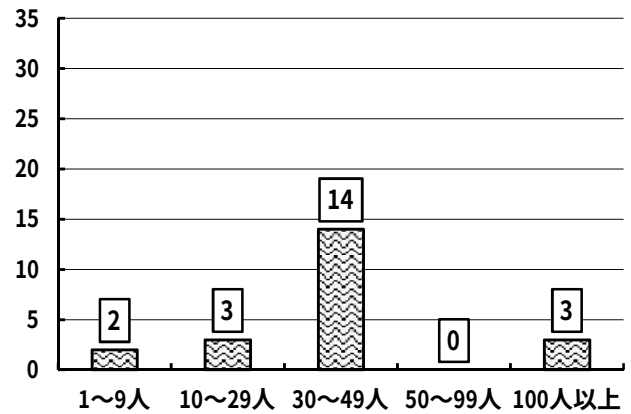
年齢



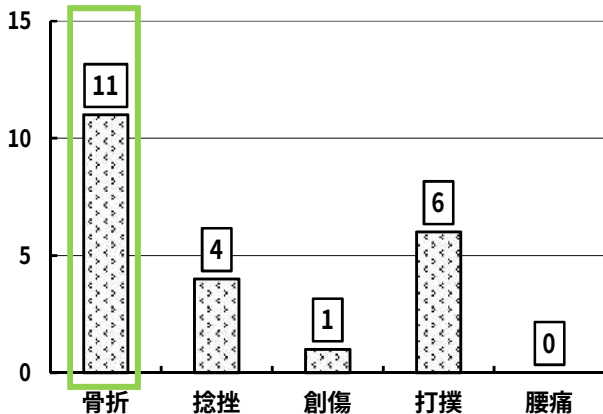
災害発生時間



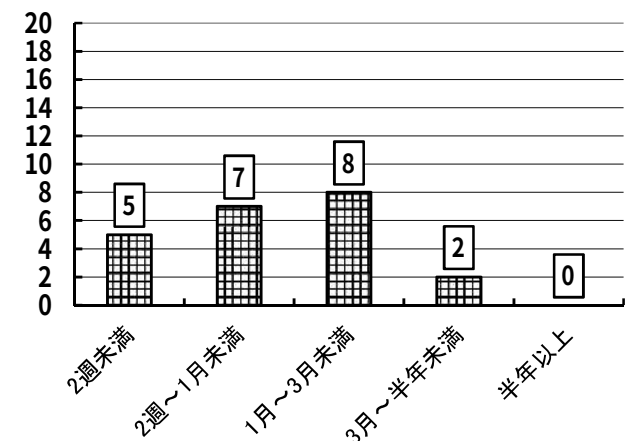
事業場規模



傷病の状態



休業見込み日数



平成30年から令和4年のその他の事業における労働災害発生状況 (事故の型・起因物)

日光労働基準監督署

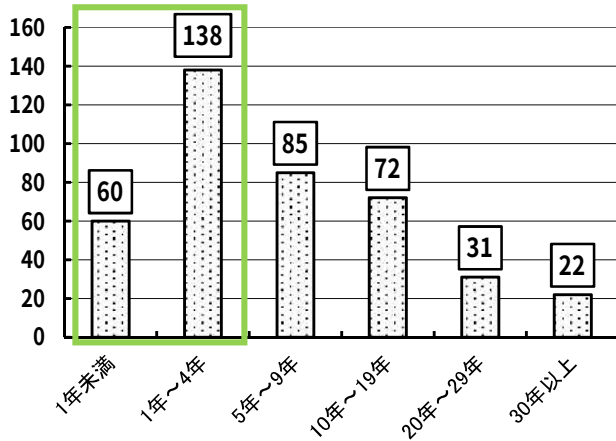
	墜落、転落	転倒	激突	飛来、落下	崩壊、倒壊	激突され	はさまれ、巻き込まれ	切れ、こすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	交通事故（道路）	動作の反動、無理な動作	その他	分類不能	総計
木材加工用機械						1		3								4
建設機械等							1									1
動力運搬機	5	1		1		3	3						1			14
一般動力機械		1		1			1	3								6
乗物	1	1	1				3					15				21
電気設備		1														1
人力機械工具等		3	1		1		2	2					3			12
用具	11	4		4		1		3		2			5			30
その他の装置、設備	2			2	1		1									6
仮設物、建築物、構築物等	15	80	4				4						10			113
材料				1		1			1	1			1			5
荷					1								7			8
環境等	4	11				4		1			1	2	3			26
起因物なし		3	1			1							22		1	28
その他の起因物		5											3	123		131
分類不能															1	1
車両系木材伐出機械等						1										1
総計	38	110	7	9	3	12	15	12	1	3	1	17	55	123	2	408
	9.31%	26.96%											13.48%			

平成30年から令和4年までのその他の事業における労働災害発生状況

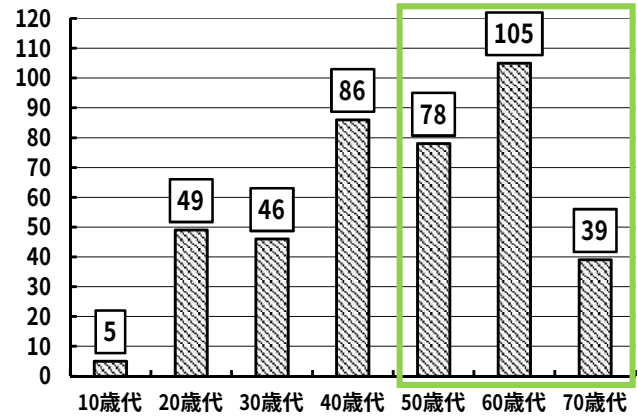
総件数：408件

日光労働基準監督署

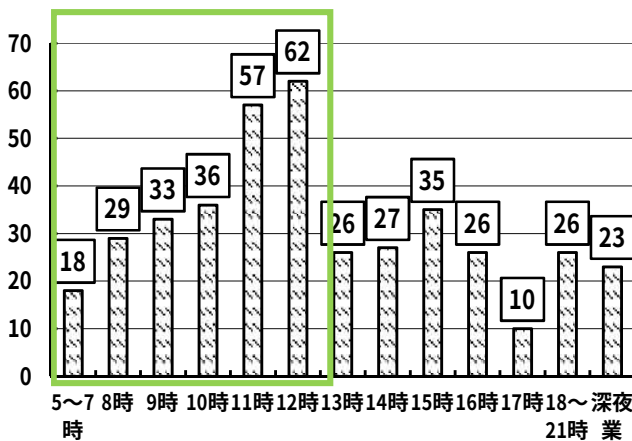
経験年数



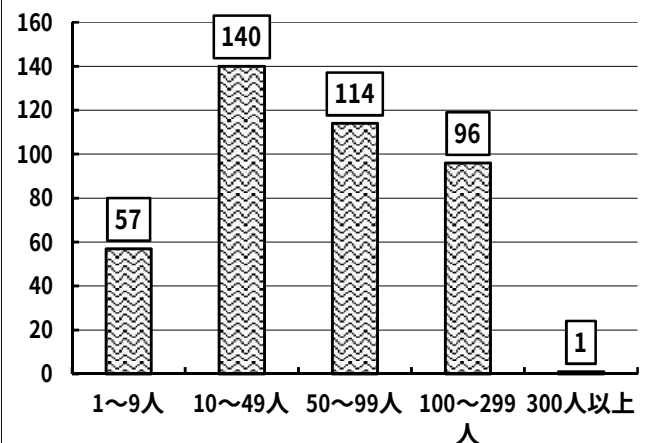
年齢



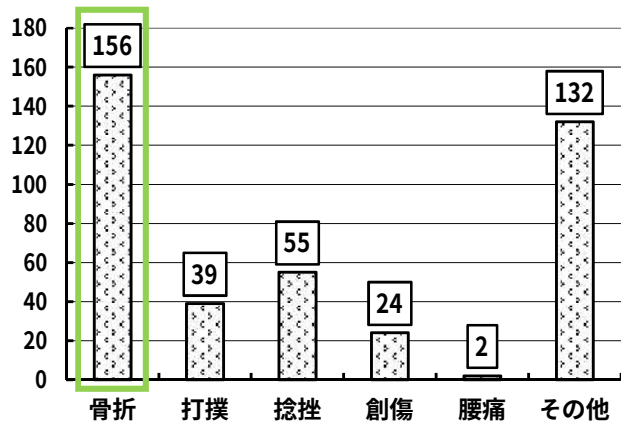
災害発生時間



事業場規模



傷病の状態



休業見込日数

